

デマンド型交通（豊里線） 運行事業計画書

令和8年度～令和12年度：持続可能な地域公共交通の構築

1

事業の目的と概要

廃止となった芦旭線の代替として、豊里・西丘地区の移動手段を確保し、地域の生活を支える持続可能な公共交通を構築することが本事業の目的です。

当社は、令和3年度から5年間にわたり豊里線の実証運行を継続し、住民の生活リズム、道路状況、乗継需要を最も深く理解してきました。

この経験を踏まえ、令和8年10月からの5年間は、地域に寄り添った「区域運行」として、安全・安定・確実な運行を提供いたします。

2

(1)運行ルート等について ①運行経路

運行ルートと乗降ポイントの最適化

シームレスな広域連携

- 旭川駅・神居中心部：片クローズ方式で通院・買い物拠点へ。
- 豊里・西丘地区：主要道路上の任意乗降。
- 新城峠：芦別市方面との乗継を最優先。

利用実態に基づき、1条通（赤十字病院等）を経由する利便性の高いルートを設定します。

運行経路	
緑線：中心部片クローズ乗降エリア	4.3 km
青線：通行エリア	1.5 km
赤線：豊里・西丘乗降可能エリア	1.0 km
合計	29.3 km

運行時間	
緑線：神居2条1丁目～旭川駅前⑩	15分
青線：神居古潭小～神居2条1丁目	15分
赤線：新城峠～神居古潭小	10分
+乗降時間（平均乗車3人×1分）	3分
+調整時分	12分
合計	55分

始発配車時間	5分
--------	----

3

(1)運行ルート等について ②運行経路全体図

運行ルートと乗降ポイントの最適化 運行経路全体図



運行経路	
緑線：中心部片クローズ乗降エリア	4.3 km
青線：通行エリア	1.5 km
赤線：豊里・西丘乗降可能エリア	1.0 km
合計	29.3 km

運行時間	
緑線：神居2条1丁目～旭川駅前⑩	15分
青線：神居古潭小～神居2条1丁目	15分
赤線：新城峠～神居古潭小	10分
+乗降時間（平均乗車3人×1分）	3分
+調整時分	12分
合計	55分

始発配車時間	5分
--------	----

4

(1) 提案内容 ③停車バス停図

運行ルートと乗降ポイントの最適化 旭川駅・神居中心部

中心部片クローズ方式エリアバス停



5

(1) 提案内容 ④停車バス停図

運行ルートと乗降ポイントの最適化 西丘・豊里地区 (セミデマンドエリア)

豊里・西丘地区バス停

バス停間の好きな場所に自分用のバス停を設定可能！
(主要道路上の任意乗降)



6

(1) 提案内容 運行ダイヤ

1日3便の確保と+回送便の増便ダイヤの構築

便	発地	発時刻	着地	着時刻	主な目的
1便	新城峠	8：30	旭川駅周辺	9：25	旭川へ通院・買物 / 芦別方面から乗継
2便	旭川駅周辺	14：30	新城峠	15：25	帰宅・午後便/芦別方面へ乗継
3便	新城峠	15：30	旭川駅周辺	16：25	旭川へのアクセス / 芦別方面から乗継
4便	旭川駅周辺	17：30	新城峠	18：25	帰宅・午後便/芦別方面へ乗継
※土日祝・年末年始を除く平日に運行。予約のない便・区間は運行せず、効率化を徹底します。					

7

(2) 運行体制について

安定的運行を支える管理体制



豊富な人員と教育体制

乗務員は、路線教習を20名以上行い、休暇と急病などの不測の事態にも対応出来るようにする。



柔軟な予約受付

電話(7:30-17:30)に加え、WEB予約を導入。前日までの予約を確実に集約します。



バスロケによる安全管理

現在地・遅れ情報など、営業所にて把握と安全管理を行っております。

8

(2) 運行体制について

利用者フレンドリーな予約システム 「待たせない・迷わせない」

予約は、運行の1か月前から前日19：30まで

初回のみパーソナルデータ登録

電話予約：本人確認（名前・電話番号）のみで完了。FAXトラブルを回避。

- ・ 電話予約受付時間は、7：30～17：30までの間とする。
- ・ 12/30・12/31・1/1・1/2・1/3の電話予約受付は、行わない。

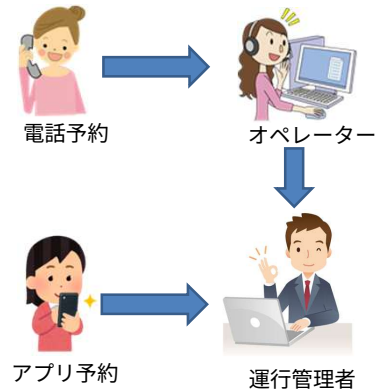
WEB/アプリ予約：24時間365日受付可能。若年層や定期利用者に最適。

- ・ パソコンやスマートフォンから予約
- ・ 「バスキタ！旭川」連動型インターネット予約システム

*キャンセルについては、運行の1時間前まで受け付け

個人情報の管理

プライバシーポリシーを設定し、情報管理を徹底します。
別紙1 プライバシーポリシー



9

(3) 使用する車両について①

需要に応じた多様な車両ラインナップ



特需：大型ノンステップ
(定員59名以上)

多人数予約やイベント時に対応可能な
高キャパシティ車両。



機動：小型リエッセ
(定員29名)

狭路走行に優れ、多めの予約人数
でも大丈夫！



主力：ハイエースコミュニティ
(定員11名)

狭路走行に優れ、少人数の通常運
行において高い効率性を発揮。

全車にICカード（Asaca/DoCARD）決済、ドラレコ、バスロケ完備。

10

(3) 使用する車両について②

旭川市内路線バスと同じ仕様

その他、共通装備品

運賃表示器・LED方向幕・両替機付き運賃箱（ICカード利用可）・ドライブレコーダー・バスロケーションシステム機器

乗車するとき



バス停の時刻表にて系統・行き先を確認してお待ちください。
また、現金でご利用の方は小銭のご用意をお願いいたします。

系統番号・行き先は前上部・側面・後方に表示しています

バスは前部・後部に出入口があります。乗車する際は前部・後部の扉を開き、足元に注意しながら乗車してください。

乗車すると入口の右側に整理券機とカードリーダーが設置されています。

現金でご利用の方
整理券をお取りください

Asaca・DoCARDご利用の方
カードリーダーにカードをタッチしてください

使用できるIC乗車カード



旭川電気軌道（Asaca）
道北バス（DoCARD）
（道北バスは現金支払いのみ）

走行中やむを得ず急ブレーキを使用する場合がありますので座席にお座りになるか、手すりやつり革におかかり下さい。
お年寄りや体の不自由な方がおりましたら座をお譲りください。

降車するとき



運賃表示機は車内前方の左上にあります。

次に停車するバス停

上段：整理券番号
下段：運賃

降りる場所のアナウンスが流れたらお近くの降車ボタンを押してお知らせください。
正常に押されるとチャイムが鳴り全てのボタンが点灯します。

降車するバス停に着きましたらバスが停車してから席をお立ちください。

現金でお支払の方
運賃投入口へ整理券を先に入れてからお金を入れてください

Asaca・DoCARDご利用の方
カードリーダーにカードをタッチしてください

紙幣の両替は千円札のみとなっております。
停車中に紙幣投入口へお金を入れてください。

カードにお金をチャージする場合は
停車中に乗務員へお申し出ください。

バスから降りる際は足元や歩道を走る自転車に十分注意してください。

11

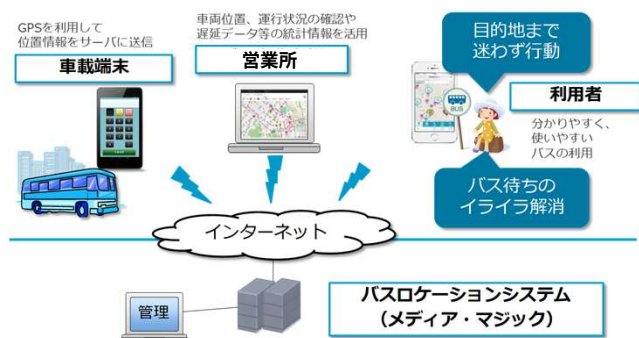
(4) 安全管理体制について

安心安全な運行管理体制を構築

- 乗務員は、路線教習を20名以上行い、休暇と急病などの不測の事態にも対応出来るようにする。
- 予約状況に応じて、11名定員のハイエース・29名定員の小型マイクロバス・59名定員以上の大型ノンステップバスを運行に使う。
- バスロケーションシステムにより、現在地・遅れ情報など、営業所にて把握管理を行っております。
- 路線走行中のバス乗務員が見るデジタルスターフ（運行指示書）に、事故や迂回などの安全情報を通知する機能があり、さまざまな情報を的確に伝えられる。

別紙2 安全管理規程

別紙3 別紙3_輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統



12

(4) 安全管理体制について

安全管理体制の強化と徹底



自社工場での点検：法定点検に加え、毎月の自主点検を実施。



運輸安全評価3つ星★★★★：旧最高ランクの認定を維持する安全品質。



ドラレコ教育：実際の映像を用いたり、実車を使用した年間3回の安全講習。



働きやすい職場認定2つ星★★★★：人への投資を確実にを行い、労働時間・休息时间・休日数など、安全な運転ができる労働環境を整備。



13

(5) 事故や緊急時の対応方法について

事故・緊急時への迅速な対応力

即時性の確保

常時、予備運転手と予備車両を確保。事故発生時にはバスロケーションシステムにより現場状況を即時に把握し、代替車両を配車することで運行の中断を最小限に抑えます。

100
代替車両配車体制
%



事故発生時にも！即対応！！



即時



予備運転手による代車



専属の事故係りによる事故分析及び乗務員教育。

2段階報告フロー：

1.初動報告（発生直後）→2.完了報告（原因分析・対策）

14

(6) 高齢者への配慮、苦情等の処理方法について

高齢者・交通弱者への配慮

創業100年「心のバリアフリー」を具現化

- ✓ 低床・広開口：車椅子利用者が予約した場合ノンステップバスで対応
- ✓ 介助連携：予約時に身体状況を把握し、乗務員に共有。
- ✓ ICカード決済：小銭を出す手間を省き、滞留時間を削減。
- ✓ 一括サポート手配対応：サポートして欲しい情報と旅程を事前にお伝えするウェブサービス。

- ✓ のりますボタン：支援が必要な方から運転手へ通知



※苦情対応は公平・誠実を旨とし、改善提案を報告書に記載します。